

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
基礎作業学演習		必修	1	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
榎田 哲弥 他	C308	t.enokida	火曜日 10:30~12:30		
授業の目的・概要	本科目は1年次の「基礎作業学」を礎として、具体的な諸活動が臨床でどのように用いられ、またどのように用いれば有効なのかについて理解することを目的とする。作業療法で用いられる諸活動を実際に体験するなかで、身体的側面のみならず、精神心理的側面や環境・個人因子の側面からも、対象者によって異なる各活動の意味を検討していく。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。疑問や不明な点は早期に解決し、授業の進行に合わせて理解を深めてほしい。 また、本科目では、基礎医学、運動学、基礎作業学、領域ごとの作業療法評価・治療の基礎的知識も必要となるため、適宜それらの知識を用いる準備ができていくことが望まれる。				
教科書	標準作業療法学 基礎作業学第3版/編:濱口豊太/出版社:医学書院/2017年				
参考書	ひとと作業・作業活動 新版/著:山根寛/三輪書店/2017年 つくる・あそぶを治療にいかす 作業活動実習マニュアル第2版/監:古川宏/出版社:医歯薬出版/2018年				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	活動各工程の遂行に必要な要素についてICFを用いて説明できる。		OT (1)、(2)		
②	活動に必要な道具・材料を挙げ、その使用法を説明できる。		OT (2)		
③	責任をもって道具・材料・作品の準備・扱い・片付けを行うことができる。		OT (1)、(2)		
④	対象者に応じたそれぞれの活動の治療的意味について説明できる。		OT (1)、(2)		
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	陶芸① 陶芸作製の流れ、使用する道具・材料について学習する。土練り、ひも作りを行う。	講義、演習	事後：資料を中心に復習する	1	
2	陶芸② 成形・削りを行う。	講義、演習	事前：資料を中心に予習する 事後：資料を中心に復習する	1	
3	陶芸③ 成形・削り、窯詰め(素焼き)を行う。	講義、演習	事前：資料を中心に予習する 事後：資料を中心に復習する	1	
4	陶芸④ 釉掛け、作品の窯詰め(本焼き)を行う。	講義、演習	事前：資料を中心に予習する 事後：資料を中心に復習する	1	
5	GW (グループごとに与えられた課題について学習する)	講義、演習、GW	事前：発表内容をまとめる 事後：発表の準備をする	1	
6	グループ発表 革細工① 革細工作製の流れ、使用する道具・材料について学習する。	発表、講義、演習	事前：発表の準備をする 事後：資料を中心に復習する	1	
7	革細工② 型紙作り、革のカット、図案写しを行う。	講義、演習	事前：資料を中心に予習する 事後：資料を中心に復習する	1	
8	革細工③ カービング、スタンピング、モデリングを行う。	講義、演習	事前：資料を中心に予習する 事後：資料を中心に復習する	1	
9	革細工④ 彩色、穴開け、レーシングを行う。	講義、演習	事前：資料を中心に予習する 事後：資料を中心に復習する	1	
10	GW (グループごとに与えられた課題について学習する)	講義、演習、GW	事前：発表内容をまとめる 事後：発表の準備をする	1	
11	グループ発表 手工芸① 手工芸作製の流れ、使用する道具・材料について学習する。	発表、講義、演習	事前：資料を中心に予習する 事後：資料を中心に復習する	1	
12	手工芸② 作品見本の作製を行う。	講義・演習	事前：資料を中心に予習する 事後：資料を中心に復習する	1	
13	手工芸③ 作製手引き、指導手順書の作成を行う。	講義・演習	事前：資料を中心に予習する 事後：資料を中心に復習する	1	
14	GW (グループごとに与えられた課題について学習する) 手工芸④	講義・演習	事前：資料を中心に予習する 事後：資料を中心に復習する	1	

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

15	手工芸⑤	講義・演習	事前：資料を中心に予習する 事後：資料を中心に復習する	1
試	定期試験 達成評価・評価のポイント参照			

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	10	40	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	10	5	25	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	0	5
	問題を発見・解決する力	0	5	5	0	0	10

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	学期末の定期試験（筆記試験）を実施し評価する。試験は授業で学んだ教科書、資料、口頭説明等の内容に基づいて出題し、知識とその理解度を問う。	全体に向けた講評を授業時または Teams 上で行い、必要に応じて対面またはリモート等で個別に振り返りを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
レポート	①	✓	Teams 課題提出機能でレポートを提出してもらう。特に考察部分を重視して評価する。	個別に Teams 上で行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
成果発表	①	✓	グループで作業療法の諸活動に関してプレゼンテーションを行い、発表・質疑応答の内容とプレゼンテーション力を評価する。	授業時間内に実施する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	ジェイソン・ディーン・スタージョン、渡辺 俊太郎
教員の実務経験	主担当教員は作業療法士として5年以上の臨床経験を有する。
実践的授業の内容	臨床を通して得られた知見と照らし合わせながら、作業活動を行う様々な意味・目的について教授する。
そ の 他	大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性がある。

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】